

# 成果報告書

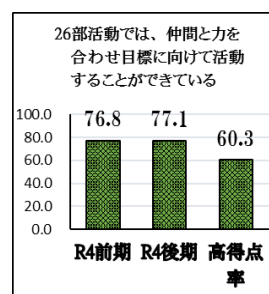
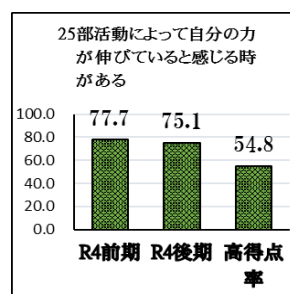
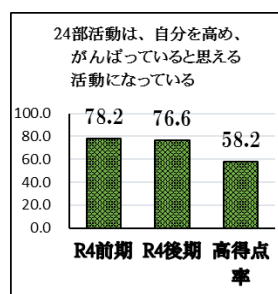
## 地域部活動推進事業

担当部署	岡山県教育庁生涯学習課		
所在地	岡山県岡山市北区内山下2-5-7	運営形態	市区町村運営型(任意団体設立型)
運営主体	赤磐市地域連携部活動推進連絡協議会		
課題	全ての文化部での地域指導員の確保 外部団体との連携やコミュニケーション不足 演奏会やコンクールの運営役員等の指導体制 地域連携の文化部活動の運営体制		
事業目標	中学校の部活動を地域と連携して運営することを通して、生徒や保護者の部活動に対する期待や要望に十分に答える体制を整える。 部活動における指導の分担化を図り、地域の指導力を活用し持続可能な指導体制を構築するとともに、教職員の負担の軽減につなげる。		
団体・組織等の連携			
拠点校等	赤磐市立磐梨中学校		
活動場所	赤磐市立磐梨中学校		
活動概要	<p><b>【定量的観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域側の受け皿として、令和3年度より赤磐市地域連携部活動推進協議会(以下、「協議会」という。)を新たに立ち上げ、部活動の地域移行について協議している。本年度は2回開催する予定である。赤磐市立磐梨中学校の吹奏楽部は4月から、美術部は5月から地域指導員による指導を開始した。</li> <li>・協議会から退職教員に声掛けを行ったり、市商工観光課の地域おこし協力隊と連携したりして、地域指導員を確保した。吹奏楽部の地域指導員は、退職教員1名、小学校非常勤講師1名の計2名である。原則、毎週土曜日に指導しているが、夏季休業中には平日にも指導した。美術部の地域指導員は、市の地域おこし協力隊1名である。2か月に1回程度、土曜日に指導している。</li> <li>・地域指導員に対して、特別支援教育の視点を踏まえた生徒とのかかわり方の研修を4月に行った。</li> <li>・休日の活動時には、生徒が緊急連絡先カードを持参することで、校内外での事故発生時に対応できるようにしている。</li> </ul> <p><b>【定性的観点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に実践校から保護者・生徒に対して、地域部活動について説明を行った。地域移行の目的や地域指導員の指導内容について説明を行ったが、異論はなかった。</li> <li>・吹奏楽部は、学校の音楽室とその隣の教室で学校備品の楽器等を使用して活動している。</li> <li>・学校の施設開放の方針について、顧問が休日にも指導していることから、学校側が必要を感じておらず、検討項目に上がりにくい。</li> </ul>		

## ○本事業による成果

(目標)

- ・岡山県地域部活動推進委員会を継続して開催し、年度末までに検討結果を公表する。  
→岡山県地域部活動推進委員会を3回、文化部会を3回行い、地域移行に係る課題等を検討し、検討結果を公表した。
- ・赤磐市地域連携部活動推進協議会を継続して開催し、赤磐市立磐梨中学校吹奏楽部における地域部活動の運営・指導体制等の地域文化部活動のあり方について検討する。  
→推進委員会を2回開催した。推進委員会の中で、連絡・調整を行っているので、統一した方針の下で実態に応じた活動ができています。
- ・地域連携部活動の趣旨を地域活動団体及び指導員、生徒・PTAに説明し、理解を得る。  
→各競技の指導者や地域の方が参加される「磐梨ドリームタウンプロジェクト委員会」では、部活動を地域移行する取組の目的や意図を説明し、共通理解ができた。地域指導員による地域連携という形式を入り口としながら、地域の理解を得ることによって今後の段階的な発展を進めていきたい。保護者、生徒からは、指導者が多く、専門的な指導が受けられる等の好意的な意見が聞かれる。
- ・令和3年5月～令和4年2月までの期間土日のどちらかを地域指導員の指導で実施する。  
→顧問及び地域指導員による指導を行った。将来的な地域移行を目指した「学校部活動の地域連携」を実施した。
- ・顧問の超過勤務時間を30%減少させる。  
→R3月平均:47.16時間→R4月平均:37.54時間 約20%の減少となった。
- ・生徒・保護者の満足度を90%以上にする。  
→生徒への学校評価アンケートにおいて、部活動に関する質問項目に対する結果は下記の通りである。



- ・吹奏楽の専門的かつ長期的な指導が可能な地域指導員を配置できるよう、関係団体などから情報を収集する。  
→吹奏楽部に2名、美術部に1名の地域指導員を配置。
- ・顧問が休日の部活動の指導を希望する場合は、兼職兼業による地域指導員として指導する。  
→吹奏楽部において、顧問の2名から兼職兼業の許可申請があり、これを認めたが、本人の意向により学校部活動の顧問としての立場での指導となった。

## ○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・吹奏楽部は、パート練習では、地域指導員を含めた4名で指導し、全体指導では顧問が主指導をしている。地域指導員による単独指導は、地域指導員の負担が大きく困難である。
- ・美術部では、地域おこし協力隊の方が地域指導員として活動しており、技術的な指導をするということではなく、可能な範囲で共同で作品を作成する活動を行っている。

## ○運営上の工夫

### ①指導者の確保

- ・教員OBの情報から個別に声掛けを行った。
- ・今後は、新たな指導者を探しつつ、経験ある方を中心に独立した運営を可能にしていく。指導が可能な方の情報が少ないことから、数年では困難であり長期的な展望で考えていく。

### ②民間活力の導入

- ・民間企業やICT機器の活用は経費の面で困難である。地道な活動を通して支援者を増やしていく。

## ○継続的な運営に関する課題

### ①地域指導者との情報共有

・磐梨中学校の場合、地域指導者は教員経験者であり、比較的理解と協力が得やすく部活動顧問とのスムーズなコミュニケーションがとれている。

### ②参加費について

・近年の物価高騰やコロナ禍での仕事の変化で保護者の経済状態も厳しい状況の中で直ちに受益者負担の理解を得ることは難しく、本年度は参加費徴収を見送った。今後は、機会均等の考え方から、できる限りの保護者の負担軽減を考えるべきと考えている。

### ③今後の課題について

・資金の調達工夫として、地域の企業から寄付を募っている。

・部活動に関わっている教員が担っている業務は、単に技術の指導だけではなく、教育的意義が大きく子供たちの成長に対する責任も重い。顧問が担っていた役割をしっかりと分析し分業していくシステムを構築する必要がある。

ただ単なる趣味の集まりのサークル的なものと考えてるのではなく、もう少し部活動が担っていた教育的意義の継承や在り方を理解して進めていく必要がある。

## ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

### 【県環境文化部】

協議会の設置・開催、文化・スポーツ団体との意見交換会の開催等

### 【教育委員会】

・少子化の進行と学校の働き方改革への対応が求められる中、将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するため、部活動の地域移行に向けた実践研究等を実施

#### 1 市町村による地域移行等に向けた実践研究

・円滑な地域移行に向けた拠点校での実践研究及び合同部活動の実践研究

#### 2 地域移行支援アドバイザーの市町村への派遣

・地域移行に知見を有する者をアドバイザーとして市町村等へ派遣し、地域移行のための方策の検討や課題解決に向けた助言等を行う。

#### 3 県立中学校等における地域移行の在り方に係る検討

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	吹奏楽部:10名 美術部:23名
	募集方法	部活動入部時に同時に募集
指導者	人数等	吹奏楽部:教員2名 地域指導員2名 美術部:教員1名 地域指導員1名
	募集方法	校長が直接声かけ
参加者の移動手段		自転車・徒歩・保護者送迎
活動費用	指導者謝金等	謝金 1,000円/時間、交通費 0円/回
	その他	
活動財源	会費	年間0円
	その他	委託費
スケジュール	基本活動	吹奏楽部:毎週土日のいずれか1日(2~3時間)、長期休業日 美術部:不定期
	年間	
保険加入等		スポーツ安全保険(生徒800円/年、指導者1850円/年 補助金)

【活動の様子（写真添付）】



美術部テレフォンボックス型本棚の制作



吹奏楽部英国庭園フェスティバル



美術部ピアノのデコレーション



吹奏楽部クリスマスコンサート